

# いま育成すべき力は何かをともに考える

## ～高等学校・大学の役割～

日時▶ 2017年12月9日(土) 9:30～17:15 (受付9:00より)

会場▶ キャンパスプラザ京都

参加費▶ 京都府内の高等学校・大学関係者：1,000円

上記以外の方(京都府内企業関係者含む)：2,000円

※「レジュメ・資料集」「報告集」を含みます。

現在、「高大接続システム改革」の具体化に向けた検討が進められている。しかし、その注目は、依然として、大学入学者選抜改革、特に「大学入学共通テスト」に集まっている。「高大接続システム改革」の本来の目的は、高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜を一体的に改革することにより、次代を生きる高校生・大学生に必要な資質・能力を身に付けさせることであって、大学入学者選抜改革は「教育改革」を実現するための改革の一つであるということをお忘れはならない。

高等学校・大学が大学入学者選抜も含めた教育改革を進めていくにあたっては、双方が「若者にこういった力を身に付けさせるべきなのか」ということを基盤として持つ必要があるということである。

その視点に立ち、本フォーラムでは、生徒・学生の学びに見られる課題を探り、共有しながら、高等学校・大学が養うべき能力はどのようなものであるのかについて、ともに考えていきたい。

### 第1部

定員200名

### 基調講演、事例報告、パネル・フロアディスカッション

9:30～15:00 (昼休み12:30～13:30)

総合司会 大西 俊弘 氏 (龍谷大学理工学部准教授/大学コンソーシアム京都高大連携推進室)

開会挨拶 北村 聡 氏 (京都外大西高等学校長/京都高大連携研究協議会運営委員長)

趣旨説明 荒瀬 克己 氏 (大谷大学文学部教授/大学コンソーシアム京都高大連携推進室長)

#### 基調講演/9:35～10:35

### 高大接続改革の政策的方向と課題 —「学びのリレー」の確立に向けて—

講師 合田 哲雄 氏 (内閣官房 人生100年時代構想推進室 内閣参事官/前文部科学省初等中等教育局教育課程課長)

#### 事例報告/10:45～12:30

▶事例報告① 京都光華女子大学

### 私立大学における要支援学生への 学習支援の取り組みと今後の課題 —アクティブラーナーの醸成—

講師 鮫島 輝美 氏 (京都光華女子大学健康科学部看護学科講師)

▶事例報告② 追手門学院大学

### 学びと成長を保証する「学ぶ力」 —教育課程設計の理論と 実践からの捉え直し—

講師 池田 輝政 氏 (追手門学院大学基盤教育機構長・学長補佐・教授)

#### パネル・フロアディスカッション/13:30～15:00

「いま育成すべき力は何か」について、フロアの参加者との意見交換も含めて考えていく

パネラー 合田 哲雄 氏・鮫島 輝美 氏・池田 輝政 氏 コーディネーター 筒井 洋一 氏 (元京都精華大学人文学部教授)

### 第2部

分科会 (6分科会) / 15:15～17:15

※第2部の詳細は、裏面をご覧ください

第1分科会【表現技法】/第2分科会【数学】/第3分科会【英語】/第4分科会【理科】

特別分科会①【アドミッション専門人材の育成】/特別分科会②【高大社連携キャリア教育】

### 情報交換会

17:30～18:30

キャンパスプラザ京都内ホールにて、立食形式の情報交換会を開催いたします。

参加費3,000円/定員60名